

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



一心をふるひ起して神さまと
世界のためにつくしたきもの

【尊師 出口日出麿】



教主さまお作 灰釉茶盃 「北光」

北海道白老土+宮原山土+金竜海土+金竜水
／金字松釉+金竜水

阿づまの光となつて

東京宣教センター総務管理課長 柿崎 哲男

二代教主さまご昇天の翌年、昭和28年、道統を継がれた三代教主さまの御代に、現在のみろく殿が完成しました。聖地での大本神殿再建は、第二次大本弾圧という大きなご聖苦を乗り越えられた先人の方々の悲願であったと、諸先輩方からお聞きしています。そのような時代の中で全国的な宣教の熱が高まり、首都圏宣教の一大拠点として昭和29年に大本東京本部の前身となる、大本東京本苑が設置され、今年で70年の佳節を迎えます。

綾部で発祥し、関西を中心に人類救済の活動を始めた大本が、関東さらに東北へと教勢を拡大したのは、開教間もない大正5年のことです。関東で初めて設置された大本横須賀支部を起点に、聖師さまによる積極的な宣教が展開されていきました。昭和10年の大本弾圧まで、関東で200カ所以上の大本の支部が設置され、東京や横浜を中心とした首都圏から、関東、東北、甲信越、北海と、大本のみ教えが瞬く間に広がっていきます。聖師さまは「真の宗教の光は東方より輝き初めたり」と示され、明治44年に400人だった信徒が、大正10年には30万人になった、と記録が残されています。

その後、大本東京本苑は昭和43年、三代教主さまが「東光苑」と命名され、聖地に次ぐ「大本東京本部」となり、現在に至っています。教団が開教100年を迎えた平成4年、四代教主さまは、東京本部を中心として関東には九つの主会があり、十曜の神紋と同じであるとお示しになり、また五代教主さまは、関東だけでなく全国の機関に「和合の梅」をご下付になり、心一つに、「善き心、よき言葉、よき行い」をもって、よい型を出していくようご教導になっておられます。

東京本部・東光苑は、世界有数の大都市である東京を中心とした首都において、地の利と人の輪を生かし、「阿づまの光」となつて、人類救済の教えを広めるとともに、令和みろくの重要な節目に、唯一無二の宣教拠点として、ますます活発に「みろくの世」へ歩みを進めなければと、身が引き締まります。



10月の月次祭を執行

関東直心会が祭員奉仕

10月の東光苑月次祭・市杵島姫命例祭は10月13日午前10時30分から、齋主・辻文子直心会東京主会連合会副会長のもと執行され、225人が参拝した。祭員は直心会関東教区連合会が、伶人は二弦の会関東支部、大本神諭拝読は石井宣江直心会関東教区連合会常任委員が担当。東光庵では、添釜がかけられ、神奈川主会が担当した。祭典後、橋本伸作東京宣教センター長があいさつ。また、直会時には青年部によるコーヒーパーターが、1階ロビーでは小物販売など直心会バザーが行われた。

また、午後1時半から2階講座室で、東京主会の「綾の郷整備事業説明会」が行われた。説明は、橋本伸作東京宣教センター長（総務）が務め、綾機神社の意義、事業計画についての説明、質疑応答が行われた。



東光苑大道場修行を開催

東光苑大道場修行は9月21日～9月23日に開催され、一般参加者を含む17人が受講した。

参加者は、2階講座室で大本のみ教えに関する講話を受講したほか、食作法の実習やギャラリーのお作品拝観なども行った。

また、修行最終日の9月23日には午前10時30分より、3階で神前で三代教主毎年祭（34年）に参拝した。

東光苑オンライン講座

12月25日（水）19：00～

理想世界実現のために
～人類愛善活動～

講師：宮下 愛善（人類愛善会副会長）



出口王仁三郎聖師が唱えた「人群万類愛善、万教同根」の二つの理念に基づいた活動を行い、世界平和の実現を目指すのが人類愛善会です。来年で人類愛善会は創立100周年。理想世界実現のためにできることを一緒に考え、実行してまいります。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

12月 東光苑祭典・行事予定

11月30日～1日（土～日）
聖地参拝ツアー（天恩郷）

8日（日）午前10時30分
東光苑月次祭・市杵島姫命例祭

16日（月）午前10時30分
開祖聖誕祭（188年）

25日（水）午前10時30分
出口日出磨尊師毎年祭（33年）

25日（水）午後7時
東光苑オンライン講座（配信）
講師 宮下 愛善
（人類愛善会副会長）
講題 世界平和実現のために
人類愛善活動

聖地参拝ツアー

～天恩郷月次祭参拝～

11月30日（土）～12月1日（日）

11月30日（土） 募集人員 20人まで
09:00 東光苑 集合 参加費 10,000円
09:30 東光苑 発
17:00 天恩郷着
19:00 特別講座（予定）

12月1日（日）
08:30 お作品拝観・神苑案内
10:00 天恩郷月次祭 参拝
直会后添釜入席
13:30 天恩郷 発
21:00 東光苑 着



- 参加者が4人に満たない場合は中止になりますのでご了承ください。
- 参加費は東京⇄亀岡の往復交通費、聖地での宿泊並びに食費、研修費を含みます。
- 移動中の食事等は含みません。
- 新幹線でご移動をご希望の方はご相談ください。

申込先 〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 大本東京本部
Tel 03-3821-3701 Fax 03-3821-5283
Mail k-nishiyama@oomoto.or.jp【担当：西山】

締切 11月23日（土）